

3 環境に関する市民・事業者意識調査 集計結果

調査の概要

■ 調査期間

平成 26 年 6 月 4 日～6 月 30 日

■ 調査方法

- ・本調査は無記名式のアンケート調査により実施しました。
- ・アンケート調査票は郵送により送付／回収しました。
- ・アンケートの回答方式は基本的に選択式で、一部に記述式を含みます。

■ アンケート送付先の抽出方法

市民意識調査 : 年代別及び住居地域別（下記参照）の層化抽出

事業者意識調査 : 業種等を考慮した抽出

居住地域区分

地 区	地 域 区 分	配布割合 (人口割)
NT 中央	小倉台、大塚、牧の木戸、木刈、内野、武西学園台、原山、高花、戸神台 中央北、中央南	36.1%
印西牧の原	東の原、西の原、牧の原、原、滝野	17.6%
木下・大森	木下、竹袋、別所、宗甫、木下東、木下南、平岡、大森、鹿黒、亀成、発作、相嶋 浅間前、鹿黒南	13.4%
小 林	小林、小林浅間、小林大門下、小林北	8.1%
永 治	浦部、浦部村新田、白幡、浦幡新田、高西新田、小倉、和泉	1.6%
船 穂	武西、戸神、船尾、松崎、松崎台、結縁寺、多々羅田	1.9%
草 深	草深、泉	2.8%
六 合	瀬戸、山田、吉高、萩原、松虫、平賀、平賀学園台	6.4%
宗 像	岩戸、師戸、鎌苅、大廻、造谷、吉田、(つくりや台)	2.8%
印旛日本医大	美瀬、若萩、舞姫	5.2%
本 郷	中根、荒野、角田、竜腹寺、滝、物木、笠神、(みどり台)	2.3%
埜 原	行徳、川向、下曽根、中、萩埜、桜野、押付、佐野屋、和泉屋、甚兵衛、松木 中田切、下井、長門屋、酒直ト杭、安食ト杭、将監、本埜小林	1.8%

■ アンケート集計方法

- ・択一式の設問では、各選択肢の選択割合（各選択肢の選択数 ÷ 回答数）及び無回答の割合（無回答数 ÷ 回答数）を集計しました。
- ・複数選択式の設問では、各選択肢の選択数及び無回答の数を集計しました。
なお、複数選択式の設問では、回答数と回答者数は一致しません。
- ・本書では回答割合を百分率で小数第 1 位まで表示（小数第 2 位を四捨五入）しているため、各選択肢の合計が 100%にならない場合があります。
- ・居住地域区分を、新市街地（NT 中央、印西牧の原、印旛日本医大）市街地・集落混在（木下・大森、小林、六合）集落（永治、船穂、草深、宗像、本郷、埜原）に分け、居住地区としています。

■ アンケート回収率

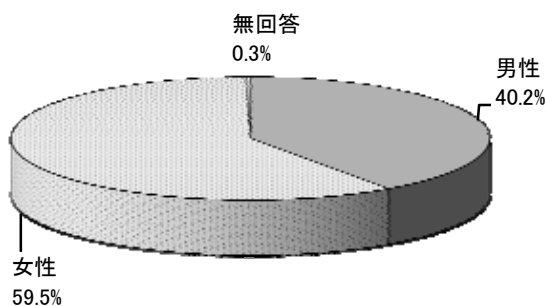
	市民	事業者
発送数	2,000	200
回収数	681	83
回収率	34.1%	41.5%

市民意識調査の結果

1 回答者の属性

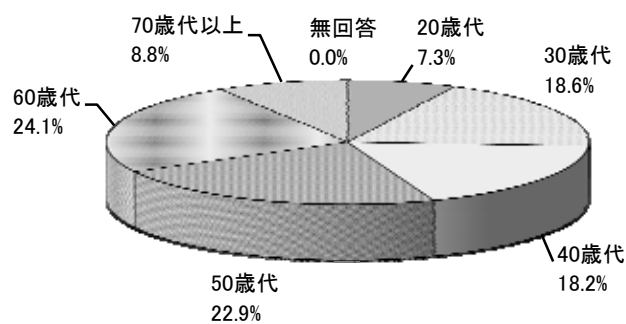
問1-1 あなたの性別はどちらですか。(1つ選択/2選択肢)

回答数 679



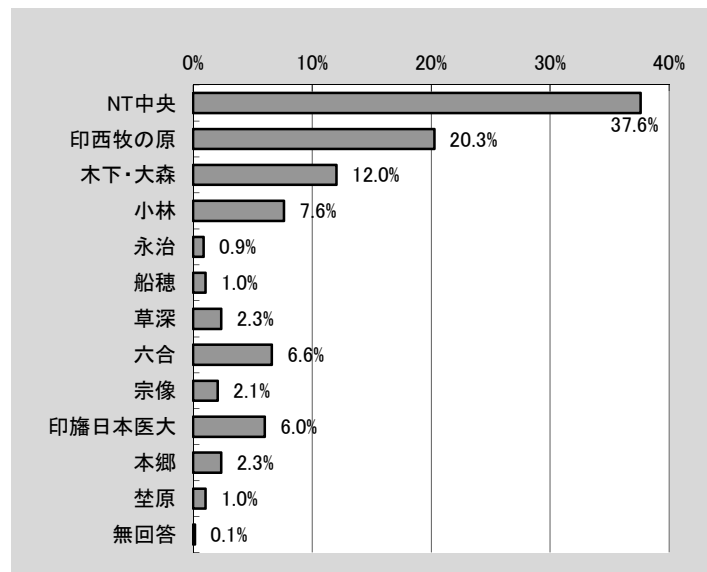
問1-2 あなたの年齢は何歳ですか。(1つ選択/6選択肢)

回答数 681



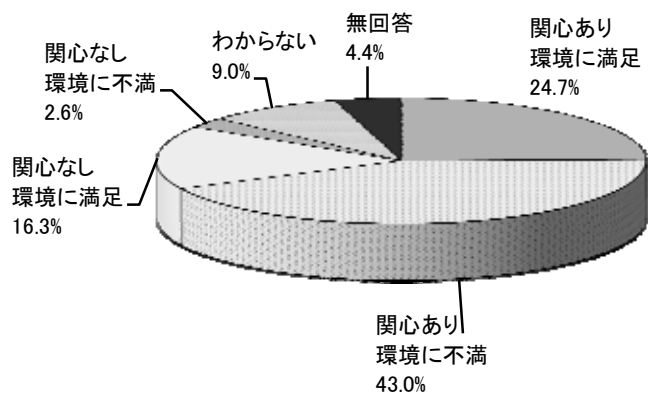
問1-3 お住まいの地区はどこですか。（1つ選択／12選択肢）

回答数 680



問1-4 環境問題に関心がありますか。また、環境に満足していますか。（1つ選択／5選択肢）

回答数 651



回答者の性別は、女性が59.5%、男性が40.2%でした。

年齢層は、50～60歳代の回答が多く、全体の約47%を占めました。

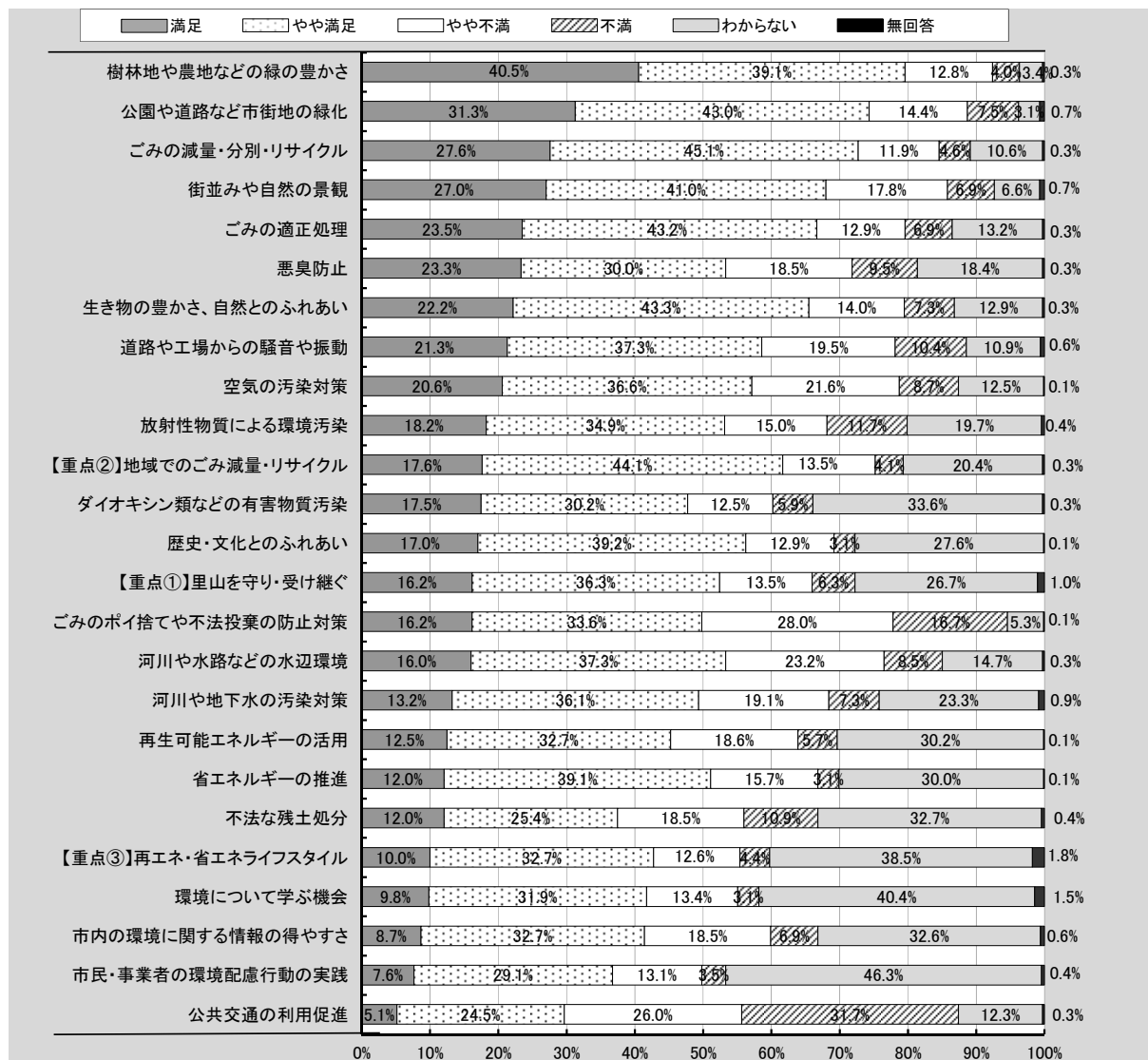
居住地域は人口分布に概ね比例した結果となり、千葉ニュータウン地区が多い点はこれまでの調査と同様の結果でした。

環境に関心がある人は67.7%で、関心のない人を上回っていましたが、そのうち環境に不満と回答した人は43.0%でした。

2 印西市の環境について

問2-1 あなたは市内の環境に満足していますか。
また、その環境を保全、対策をすることがどの程度重要だと思いますか。
(1つ選択/5選択肢)

○満足度



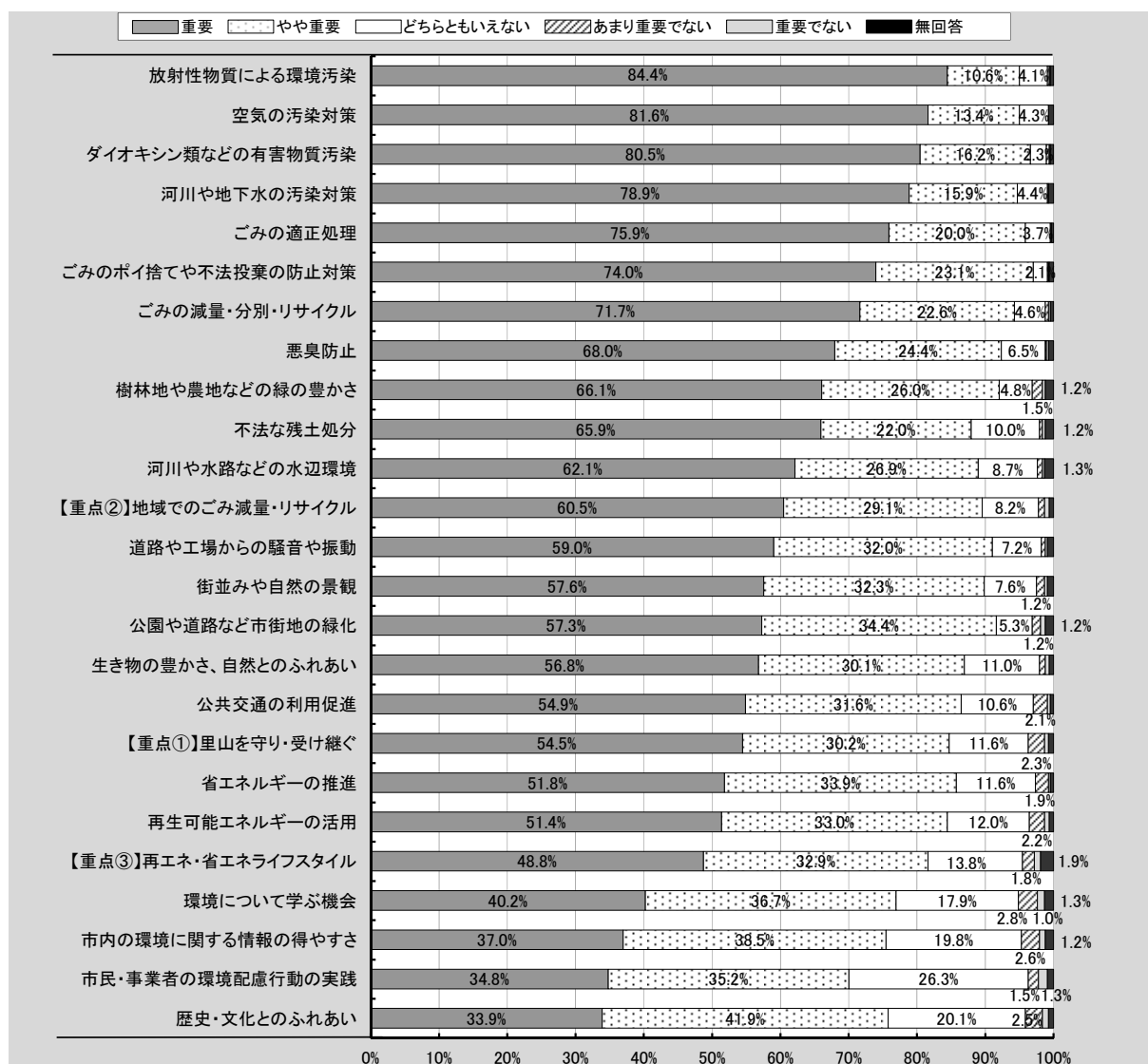
※重点①～重点③は、印西市環境基本計画における重点プロジェクトを示す。

「樹林地や農地などの緑の豊かさ」は、40.5%の人が『満足』と回答しており、『やや満足』を含めると約8割の人が満足と感じていました。また、「公園や道路など市街地の緑化」「ごみの減量・分別・リサイクル」も満足の割合が高い結果でした。

『やや不満』『不満』の回答が多かったのは「ごみのポイ捨てや不法投棄の防止対策」「公共交通の利用促進」で、4割以上の人が不満に感じていました。

また、『わからない』の回答が3～4割を占める項目も多くなっていました。

○重要度



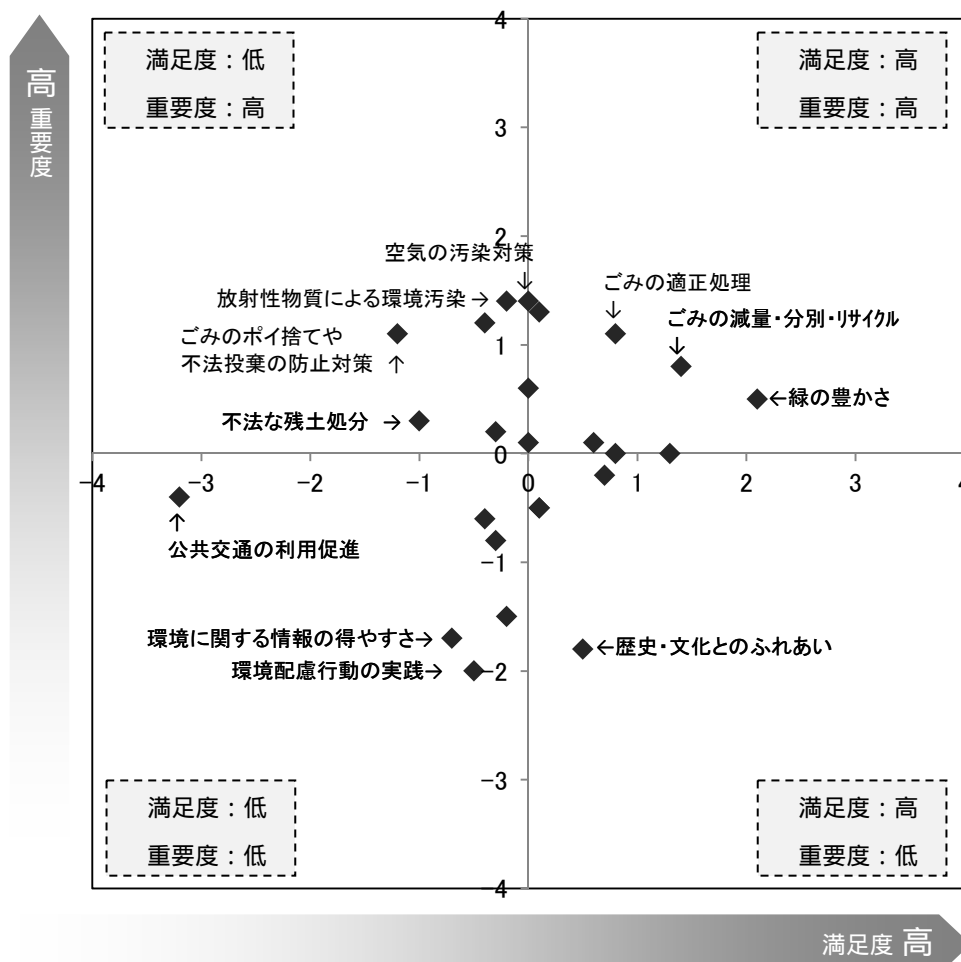
※重点①～重点③は、印西市環境基本計画における重点プロジェクトを示す。

「放射性物質による環境汚染」「空気の汚染対策」「ダイオキシン類などの有害物質対策」は『重要』の回答が8割以上であり、安心・安全な生活の基盤となる項目で重要度が高い結果でした。

一方、「歴史・文化とのふれあい」「環境について学ぶ機会」「市内の環境に関する情報の得やすさ」「市民・事業者の環境配慮行動の実践」は他の項目と比べて重要という回答が少ない結果でした。

○満足度・重要度マップ

各項目の満足度と重要度から標準化得点マップを作成し、グループ化しました。



・ 重点改善項目（満足度が低く、重要度が高いグループ）

「放射性物質による環境汚染」「空気の汚染対策」「河川や地下水の汚染対策」
 「ごみのポイ捨てや不法投棄対策」「悪臭防止対策」「不法な残土処分」
 「河川や水路などの水辺環境」

・ 改善項目（満足度が低く、重要度が低いグループ）

「市民・事業者の環境行動の実践」「環境に関する情報の得やすさ」「環境について学ぶ機会」
 「重点 再エネ・省エネライフスタイル」「再生可能エネルギーの活用」「公共交通の利用促進」

・ 重点維持項目（満足度が高く、重要度も高いグループ）

「ごみの適正処理」「ごみの減量・分別・リサイクル」「樹林地や農地などの緑の豊かさ」
 「道路や工場からの騒音・振動」「重点 地域ぐるみでのごみ減量・リサイクル活動」
 「公園や道路など市街地の緑化」「ダイオキシン類などの有害物質汚染」

・ 維持項目（満足度が高く、重要度は低いグループ）

「歴史・文化とのふれあい」「省エネルギーの推進」「重点 里山を守り・受け継ぐ」
 「生き物の豊かさ、自然とのふれあい」「街並みや自然の景観」

問2-2 市内の「残したい環境」、「改善したい環境」を自由にご記入ください。

○残したい環境

回答数 188人

分 類	意見数	主な意見・場所など
自然環境・里山 動植物	116	印西牧の原、草深の森、草深原、滝の里山、松虫の里山、NT 地区の緑 ※市内全体の自然や里山についての意見が多い
公園	45	北総花の丘公園、草深公園、浦簗公園、滝野公園、牧の原公園、 松虫姫公園、山下公園
田園風景	15	別所、木刈～松山下公園辺り、小林、小倉～松山下周辺
水辺	14	亀成川、ひょうたん島池、調整池
まちの景観	10	小林牧場の桜並木、鎌刈地区の紫陽花・ツツジ、中央駅前の緑
文化	8	木下の歴史地区、結縁寺
その他	15	空気のきれいさ、コミュニティバス、小倉台小学校のビオトープ

○改善したい環境

回答数 212人

分 類	意見数	主な意見・場所など
公害	59	大気(家庭ごみの野焼き、草深での農家の野焼きなど) 水質(浦部川、利根川、印旛沼、新川、神崎川、戸神台の調整池など) 騒音・振動(深夜の車・バイク、県道 190 号、航空機など) 悪臭(滝野、大門の貯水池、小林調整池、NT 地区、草深、大型ごみ処理機 調整池、公園の池、高花、滝)
交通	44	道路整備(平賀学園台、平賀、木下、小林北、NT 地区、県道 61 号など) 464 号の草深口開放、交通量増加・渋滞、大型トラック規制、危険な自転車
雑草等の管理	26	464 号沿い、牧の原、NT 地区、平賀、物木、印旛美瀬、松虫川周辺など
まちの整備	21	街灯(牧の原駅前、西の原公園、高花小学校周辺、まち全体など) 街路樹(木下小学校通学路、西の原のツツジ、印旛日本医大など)
ポイ捨て 不法投棄	18	新川の不法投棄、交通量の多い道路のごみ、大塚前公園、木下駅、中央駅 など
開発による 自然の減少	16	亀成川の生きものが少なくなった、ホテルが見られなくなった、草深周辺の宅 地化、必要のない道路が多い、大型店舗が増えて自然が壊されている
有害鳥獣、虫 外来種	14	毛虫、印旛沼のカミツキガメ、岩戸のイノシシ、鳥のフン害 草深公園のブラックバスなど
モラル・マナー	12	犬の放し飼い、駐車違反の車、ごみ出しマナー、ペットのフン
公園の管理	11	西の原公園、草深公園、上町公園など
その他	37	放射能、水辺の整備、砂ぼこり、動物の交通事故、上下水道整備、老人の 住みやすい環境 など

「残したい環境」としては、里山を含む自然環境、動植物の保護についての意見が最も多くあげられ、特定の場所ではなく市内全体についての意見が多く、「自然豊かな印西市」に対する愛着が強い傾向がみられました。そのほか、身近な公園や田園風景、まちの景観などといった回答が多くあげられました。

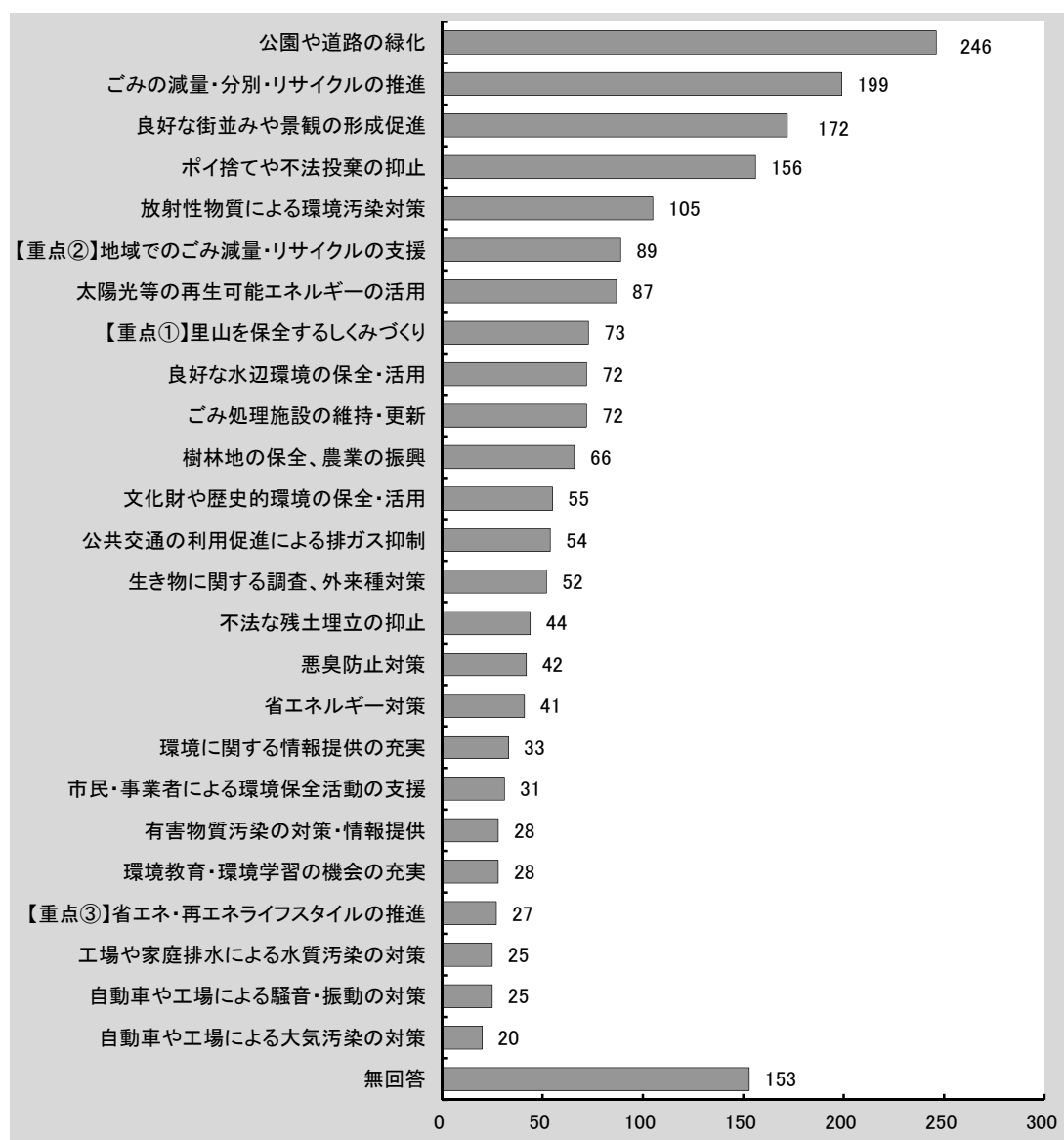
「改善したい環境」としては、公害に関する意見が最も多く、中でも悪臭に関する意見は具体的な地名や発生源を含め多くの回答がありました。また、野焼き、河川・池などの水質、自動車・航空機からの騒音などの意見がありました。次いで、交通に関する意見が多く、整備が必要な道路や交通渋滞の意見があげられました。また雑草の繁茂によって見通しが悪いという意見も具体的な場所を含め多くあげられました。街灯や街路樹など、まちの整備に関する意見、ポイ捨て・不法投棄、開発による自然の減少、有害鳥獣や外来種など、改善したい環境は多岐にわたっていました。

3 市の取り組みについて

問3 現在、市が取り組んでいる環境施策のうち、ここ数年でよくなったと感じる施策と、今後とくに力を入れてほしいと考える施策はなんですか。
(5つ選択／25選択肢)

○ここ数年でよくなった施策

回答数 1,842 (528人)



※重点①～重点③は、印西市環境基本計画における重点プロジェクトを示す。

「公園や道路の緑化」が最も多く、次いで「ごみ減量・分別・リサイクルの推進」、「良好な街並みや景観の形成促進」、「ポイ捨てや不法投棄の抑止」、「放射性物質による環境汚染対策」の回答数は100を超えており、取組が評価されていました。

一方、大気・水質・騒音振動といった公害に関する項目の回答は少なくなっていました。

【性別・年齢別・居住区別集計】

		1位	2位	3位
性別	男性	公園や道路の緑化 (46.9%)	ポイ捨てや不法投棄の抑止 ごみの減量・分別・リサイクルの推進 (34.0%)	良好な街並みや景観の形成促進 (31.6%)
	女性	公園や道路の緑化 (46.5%)	ごみの減量・分別・リサイクルの推進 (40.3%)	良好な街並みや景観の形成促進 (33.0%)
年齢別	20 歳代	良好な街並みや景観の形成促進 公園や道路の緑化 (35.0%)	ポイ捨てや不法投棄の抑止 (25.0%)	ごみの減量・分別・リサイクルの推進 (20.0%)
	30 歳代	公園や道路の緑化 (52.9%)	良好な街並みや景観の形成促進 (47.1%)	ごみの減量・分別・リサイクルの推進 (33.3%)
	40 歳代	公園や道路の緑化 (35.5%)	良好な街並みや景観の形成促進 (32.3%)	ポイ捨てや不法投棄の抑止 ごみの減量・分別・リサイクルの推進 (31.2%)
	50 歳代	ごみの減量・分別・リサイクルの推進 (48.7%)	公園や道路の緑化 (45.2%)	良好な街並みや景観の形成促進 (27.0%)
	60 歳代	公園や道路の緑化 (52.0%)	ごみの減量・分別・リサイクルの推進 (42.5%)	ポイ捨てや不法投棄の抑止 (35.4%)
	70 歳代以上	公園や道路の緑化 (52.9%)	ポイ捨てや不法投棄の抑止 (39.2%)	ごみの減量・分別・リサイクルの推進 (35.3%)
居住地区別	新市街地	公園や道路の緑化 (47.8%)	良好な街並みや景観の形成促進 (38.7%)	ごみの減量・分別・リサイクルの推進 (34.9%)
	市街地 集落混在	公園や道路の緑化 (47.5%)	ごみの減量・分別・リサイクルの推進 (46.8%)	ポイ捨てや不法投棄の抑止 (27.3%)
	集落	ポイ捨てや不法投棄の抑止 (38.3%)	公園や道路の緑化 (36.2%)	ごみの減量・分別・リサイクルの推進 (31.9%)

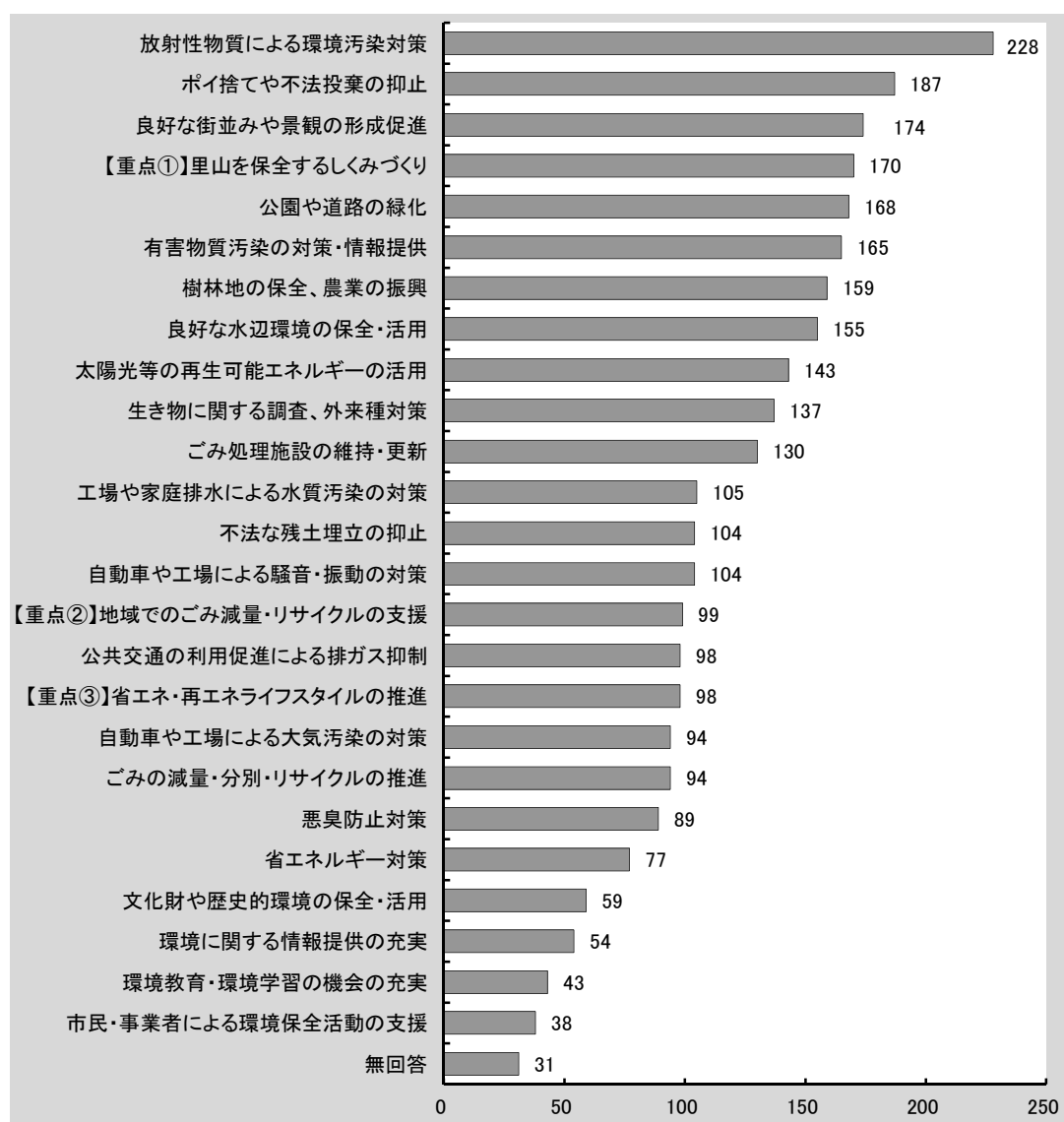
ここ数年でよくなった施策として、性別では大きな違いはみられず、1 位に「公園や道路の緑化」があげられました。男性の 2 位に「ポイ捨てや不法投棄の抑止」が入っていました。

年齢別では、50 代のみ 1 位に「ごみの減量・分別・リサイクルの推進」があげられました。「良好な街並みや景観の形成促進」は、20 代では 1 位に、30～50 代で 2 位か 3 位に入っており、若い世代でより評価されている施策でした。

居住地区別では、新市街地で「良好な街並みや景観の形成促進」が 2 位にあげられ、それ以外の地区では 3 位までには入っていませんでした。また、集落では「ポイ捨てや不法投棄の防止」が 1 位にあげられるなど、地域の居住環境の差が明白となっていました。

○今後力を入れてほしい施策

回答数 2,972 (650人)



※重点①～重点③は、印西市環境基本計画における重点プロジェクトを示す。

最も意見の多かったのは「放射性物質による環境汚染対策」となり、近年の市の取組が評価されている反面、今後も引き続き対策が求められていました。次いで、「ポイ捨てや不法投棄の抑止」、「良好な街並みや景観の形成促進」などの生活に身近な項目があげられたほか、「重点プロジェクト 里山を保全するしくみづくり」も多くあげられました。

一方、環境教育や情報提供といった「人づくり」に関する項目は回答が少なくなっていました。

【性別・年齢別・居住区別集計】

		1位	2位	3位
性別	男性	良好な街並みや景観の形成促進 公園や道路の緑化 (30.2%)	良好な水辺環境の保全・活用 放射性物質による環境汚染対策 【重①】里山を保全するしくみづくり (29.1%)	ポイ捨てや不法投棄の抑止 (27.9%)
	女性	放射性物質による環境汚染対策 (39.3%)	ポイ捨てや不法投棄の抑止 (29.2%)	有害物質汚染の対策・情報提供 (26.8%)
年齢別	20 歳代	ポイ捨てや不法投棄の抑止 (39.6%)	公園や道路の緑化 (33.3%)	良好な街並みや景観の形成促進 (31.3%)
	30 歳代	放射性物質による環境汚染対策 (47.2%)	ポイ捨てや不法投棄の抑止 (29.6%)	有害物質汚染の対策・情報提供 (28.8%)
	40 歳代	放射性物質による環境汚染対策 (31.6%)	良好な街並みや景観の形成促進 公園や道路の緑化 (27.4%)	樹林地の保全、農業の振興 (26.5%)
	50 歳代	放射性物質による環境汚染対策 (32.2%)	ポイ捨てや不法投棄の抑止 (28.9%)	有害物質汚染の対策・情報提供 【重①】里山を保全するしくみづくり (28.2%)
	60 歳代	【重①】里山を保全するしくみづくり (35.3%)	放射性物質による環境汚染対策 (33.3%)	樹林地の保全、農業の振興 (32.7%)
	70 歳代以上	ポイ捨てや不法投棄の抑止 (34.5%)	放射性物質による環境汚染対策 良好な街並みや景観の形成促進 (32.7%)	【重①】里山を保全するしくみづくり (29.1%)
居住地区別	新市街地	放射性物質による環境汚染対策 (37.3%)	良好な街並みや景観の形成促進 (28.8%)	公園や道路の緑化 (28.3%)
	市街地 集落混在	良好な水辺環境の保全・活用 放射性物質による環境汚染対策 (30.9%)	ポイ捨てや不法投棄の抑止 (28.5%)	樹林地の保全、農業の振興 (26.7%)
	集落	樹林地の保全、農業の振興 (40.0%)	ポイ捨てや不法投棄の抑止 (38.3%)	生き物に関する調査、外来種対策 不法な残土埋立の抑止 放射性物質による環境汚染対策 (30.0%)

今後力を入れてほしい施策として、男性は「良好な街並みや景観の形成促進」と「公園や道路の緑化」が1位だったのに対し、女性は「放射性物質による環境汚染対策」が最も多くあげられ、約4割の女性が選択していました。

年齢別では、30～50歳代は「放射性物質による環境汚染対策」が最も多くあげられた一方、50～70歳以上は他の世代ではあげられていない「重点プロジェクト 里山を保全するしくみづくり」が3位までにあげられるなど、世代間で市へ期待する施策が異なっていました。

居住地区別では、新市街地で「放射性物質による環境汚染対策」が最も多くあげられ、次いで「良好な街並みや景観の形成促進」、「公園や道路の緑化」の意見が多く、若い子育て世代の多いニュータウン地域の特性を反映していました。一方、市街地・集落混在では「良好な水辺環境の保全・活用」が多くあげられたほか、集落では「樹林地の保全・農業の振興」が最も多く、「生物に関する調査・外来種対策」、「不法な残土埋立の抑止」等も多くあげられるなど、地域性を反映した回答となっていました。

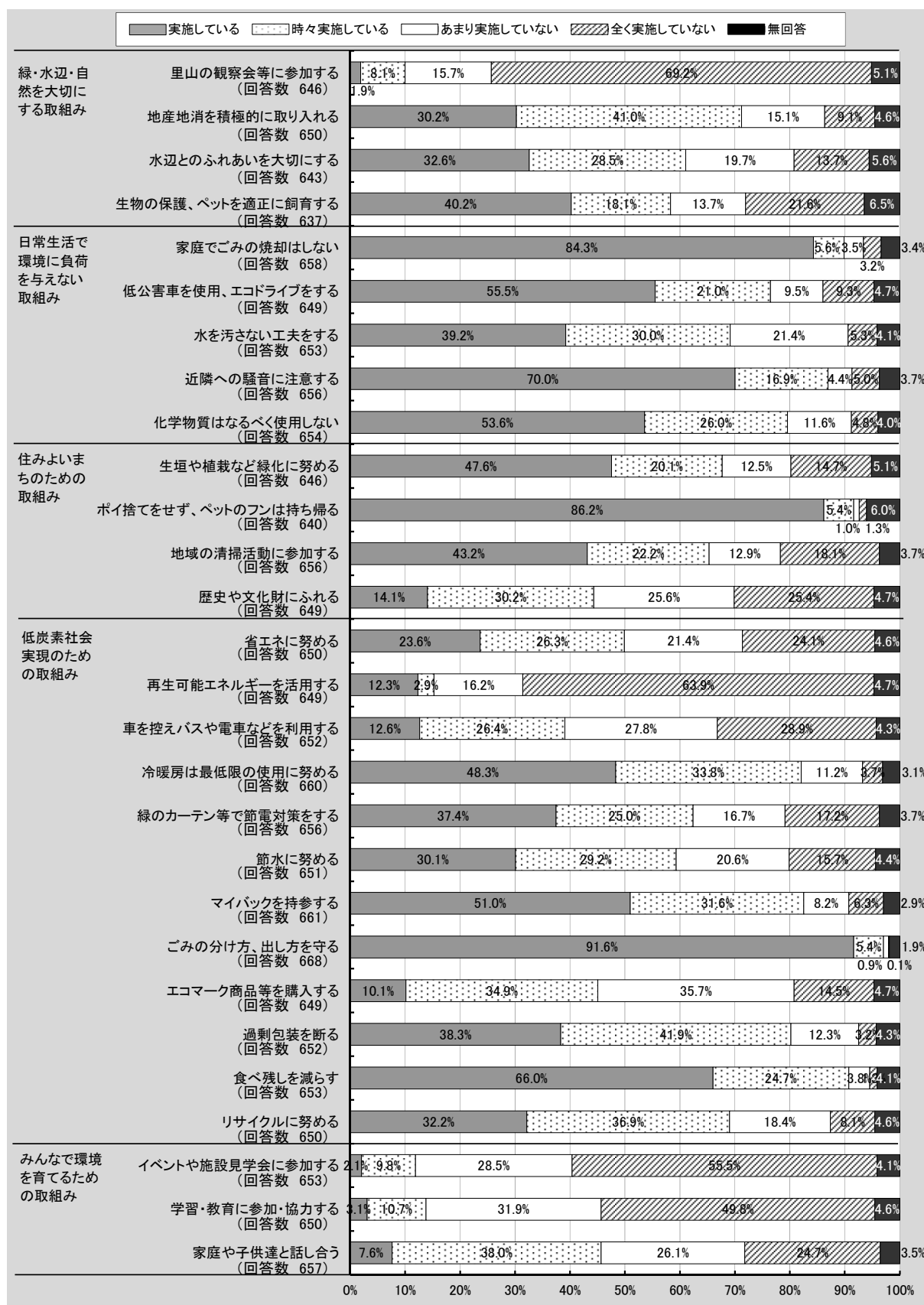
4 環境行動への取り組みについて

環境行動への取り組み状況(次頁参照)を見ると、「日常生活で環境に負荷を与えない取り組み」は5項目中4項目、「住みよいまちのための取り組み」は4項目中1項目、「低炭素社会実現のための取り組み」は12項目中3項目で、半数以上の方が『実施している』と答えていました。とくに、「家庭でごみの焼却はしない」「ポイ捨てをせずペットのフンは持ち帰る」「ごみの分け方、出し方を守る」は8割以上の方が実施しており、日常生活の中で行動が定着していました。

一方、「緑・水辺・自然を大切にする取り組み」や「みんなで環境を育てるための取り組み」は『実施している』が半数以上の取組はありませんでした。「みんなで環境を育てるための取り組み」については、『時々実施している』を含めても実施割合は低く、引き続き環境活動への参加促進を図っていく必要があります。

問4 環境の行動について、あなたは普段以下のようなことを行っていますか。

(各1つ選択／4選択肢)



5 自由意見

問5 印西市の環境に関するご意見、ご要望、取り組みを進めるにあたってのアイディアなどがあればご記入ください。（記述式）

回答数 274（205人）

分類(意見数)		主な意見
交通 (50)	公共交通 (27)	➢ 公共交通機関が充実していないので、車に頼らざるをえない ➢ バス路線・本数が少なすぎる、料金も高く、終バスが早くて不便 ➢ 北総線運賃がもっと安く・本数が多くなれば、電車で移動するが、省エネや低公害対策に取り組むたくてもできない ➢ 北総線が高すぎるため引っ越しを考えている ➢ 印西牧の原駅に「アクセス特急」がとまると便利 ➢ 生活バスちばにうに乗ってみたい、子育てに優しいバスがあると良い ➢ ふれあいバスをいつも利用しており、ありがたい ➢ 印旛支所までのコミュニティバスを平賀まで延長してほしい
	道路整備 (15)	➢ 側溝が浅くなってしまっているのを、改善してほしい ➢ シルバーカーや車イスが通行しやすい歩道を整備してほしい ➢ 県道 4 号など大型車が通る道や、途中で幅員が狭くなる道を広げてほしい、危険である ➢ 川沿いの遊歩道やサイクリングロードがあると良い ➢ 国道 464 号沿いの道路工事には違和感がある ➢ 道路がデコボコ、穴があいている ➢ 街の発展に比べ、幹線道路の整備が遅れている
	交通環境 (8)	➢ 土日祝日の交通渋滞に困っている ➢ 国道 464 号のバイパスの開通で渋滞解消を期待している ➢ 国道 464 号の出入り口が不便 ➢ 佐倉印西線の大型トラック規制をしてほしい ➢ 禁止区域での大型車の取り締まりの徹底
廃棄物 (31)	分別・処理 (21)	➢ ごみの分別・減量の冊子を作るなど、呼びかけてほしい ➢ 生ごみ・燃やせるごみの回収日数を増やしてほしい ➢ マンションの生ごみ処理機を活用している ➢ プラスチックや雑がみなど、分別がもう一息だと思う ➢ 使わなくなった食器を回収して陶器市を開催してはどうか ➢ 粗大ごみの出し方が浸透していない ➢ リサイクルセンターを活用したフリーマーケットなどがあれば良い ➢ プラ出し用のごみ袋をなくしごみを減らす ➢ ごみの分別、リサイクルの意識がまだまだ薄い ➢ ゴミ集積所で時々いい加減な出し方をみかけます ➢ ネットは猫が荒らすので、箱型のもので回収してはどうか ➢ もっと細かく分別した方が良い
	クリーンセンター (10)	➢ ごみ処理施設からの煙調査地点を増やして、正確な情報を提供して欲しい ➢ ごみ焼却場は寿命がくるまで今のものを使用すべき ➢ クリーンセンター移転等処理設備をつくる際はプラごみもいっしょに燃やせる設備にしてほしい ➢ ごみ処理施設は必要なものなので反対しない、地域に温水センターができ、雑木林が整備され、皆のために役立つものが良い ➢ まちの真ん中、住宅地に建設しないでほしい

分類(意見数)		主な意見
都市環境 (28)	まちの緑 (16)	➢ 植栽の剪定、草刈をもっと頻繁にしてほしい ➢ 公道の草取りくらいは行政にまかせないで、自宅近くは個人でやってはどうか ➢ 夏は日差しが強いので、街路樹があると助かる ➢ 道路の緑化維持雑草対策 ➢ 街路樹の事故が増えているが、計画的に植えてほしい ➢ 雑草が生い茂って視界が遮られ、危険である ➢ 緑が多く、良い環境である
	まちの美化 (12)	➢ 街はきれいだが、雑木林などにゴミが捨てられ、放置されている ➢ 空缶やペットボトルの投げ捨てを禁止してほしい ➢ 歩きたばこ、吸い殻が目立つ ➢ ハトのフン対策をしてほしい ➢ ペットのフンの始末ができていない ➢ 草深公園の池が汚く、ゴミが散乱している
自然環境 (25)	自然との共生 (18)	➢ 野生動物の保護に力を入れてほしい、交通事故を防ぐ取り組みなど ➢ 里山とニュータウンが共生した、皆が大切に思うふるさとにしたい ➢ 自然がいっぱいでのびのび子育てができた、緑が多く心地良い ➢ 大森(古新田)地区からニュータウン方面にぬける新しい道路で、野生のキジが行き場をなくして道のすみにいるのをよく見かける ➢ 緑の豊かな素晴らしい印西市である ➢ 自然をより多く残してほしい ➢ 一番のぜいたくは「おいしい空気と水」、豊かな自然を残してほしい ➢ 今は見える星も少なくなり、鳥なども減ったと感じる ➢ 珍しい生きものが住んでいけるまちづくりをしてほしい ➢ 動物や野鳥にえさを与えないよう広報で注意してほしい
	その他 (7)	➢ 山林緑地が多くあるが、荒らしたままにせず管理してほしい ➢ ハチやゲジゲジが家に入ってくる、緑が多いので毛虫も多い ➢ 里山保全など、計画的な自然環境の保護に力を入れてほしい ➢ 千葉NTエリアの「奇跡の原っぱ」が話題になっていますが、残すべきか検証してほしい
開発 まちづくり (22)	都市整備 (17)	➢ 暗がりは危険なので、街灯の設置を増やしてほしい ➢ 今後高齢者が増加することを考えてバリアフリー化を進めてほしい ➢ 公園をもう作らないでほしい ➢ 無計画な開発をやめ、緑を残していく環境開発にしてほしい ➢ 水のまちとして観光 PR、遊び場を整備してほしい ➢ 開発を少し抑えてほしい ➢ ショッピングモールの多くの店が閉店しているが、大型商業施設が建設されている ➢ 田畑をつぶして新しい道路や住宅が出来ていくのをみると切なくなる
	景観 (5)	➢ 電線の地中化や住宅地と駅の近さなどの住環境が気に入っている ➢ 桜並木などを整備して景観を良くしてほしい ➢ 自然の景観を生かした街づくりを進めてください ➢ もともとあった自然を生かした景観マスタープランを作してほしい

分類(意見数)			主な意見
環境教育 環境学習 参加・協働 (23)	環境教育 (13)		➤ 人材資源の有効活用をしてほしい ➤ 小・中学校で地域のゴミ拾いに取り組んでほしい ➤ 幼児からでも体験できる自然学習などの教育の場を設けてほしい ➤ 学校での環境教育の充実 ➤ ごみの分別について、教育現場で取り上げてほしい ➤ 水辺の環境を良くし、遊び場を作れば子供に環境の大切さをより理解させることができる
	情報提供 (6)		➤ 印西市の環境について情報をいただきありがたい ➤ マンション住まいなので、地域の活動に関わるにはどうしたら良いのか、きっかけを掴む情報を提供してほしい ➤ 子供が遊べる水辺の情報がほしい ➤ もっと情報発信に力を入れてほしい
	イベント (4)		➤ 環境学習を通して市認定証を交付し、認定者にはイベント等のリーダーや指導員に携わってもらうなど、市民参画意識を高める方法を検討してはどうか ➤ 子供参加型のものがあれば参加したいと思う、コミュニティも広がって良いのではないかと ➤ イベントや見学会は住民にちっとも浸透していないように感じる
生活環境 (17)	公害 (14)		➤ 自動車の増加による騒音が気になる ➤ 農家が畑等で焼却を行っているのはおかしい ➤ 大型トラックの振動に悩まされている ➤ 黄砂、PM2.5 の多いときは、光化学スモッグのように放送して知らせるようにしてほしい ➤ 地域の 17:00 の放送の騒音がうるさい ➤ 中が見えないように壁で囲まれた事業所が多く、かなりの騒音である ➤ 白井市の養豚場からの悪臭がひどい ➤ 草深公園の池がとても汚く悪臭がする ➤ 大気汚染や騒音振動の監視が不十分 ➤ 夜間にごみを焼却する家庭があり、困っている ➤ 印旛沼の浄化、水質改善 ➤ 低空で飛行するジェット機騒音にイライラしている
	上下水道 (3)		➤ 高花あたりの水道水が異様に臭い ➤ 上下水道を完備してほしい、浄化槽の維持費も大変
放射能関連(11)			➤ 手賀沼一帯の泥が放射能の汚染がひどいと聞いた ➤ 子どもなど、体への影響を計ってほしい ➤ 放射性物質の一時保管場所、手賀沼処理場の問題が不安 ➤ タケノコ等農産物の出荷自粛など、市の広報で数値も知らせてほしい ➤ 空間線量をもっと下げてほしい ➤ 放射性物質の調査箇所を増やしてほしい

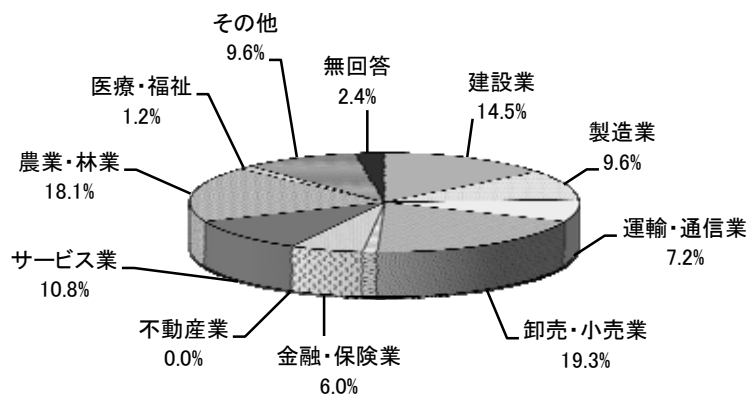
分類(意見数)		主な意見
公園	(10)	➤ 子供が楽しく遊べる大きな公園があるとよい ➤ 遊具が少ないと感じる ➤ 小林地区には、大人が過ごせるような大きな公園がないので、ぜひ作っていただきたい ➤ 公園の駐車場を無料にしてほしい ➤ 公園をつくらないでほしい ➤ 緑豊かな公園が増えていると思うが、まだ足りない ➤ 公園や道路の緑の多さに満足している
行政への 要望 (22)	取り組み (12)	➤ 市の取り組みで実感できない ➤ 地域ごとの課題、地域に密着した環境問題から取り組んではどうか ➤ 必要なところに予算をまわしてほしい ➤ 自転車先進地域を宣言してはどうか ➤ 住民が今以上に増加するような施策を望む
	アンケート (10)	➤ 環境について考えるきっかけになった、有意義 ➤ 記入していてわからないことがほとんどだった ➤ メール配信等でペーパーレス化してはどうか ➤ 回答しづらかった
その他 (35)	エネルギー (5)	➤ 太陽光発電システムの助成をもう少ししてほしい ➤ 薪ストーブを購入した ➤ エネルギーの地産地消を推進してほしい ➤ 太陽光発電システムのレンタル化
	病院・施設 (5)	➤ 小中学校のエアコン設置は急務 ➤ 医療機関の整備 ➤ 木下駅前や小林地区にはお店がなく不便
	地域格差 (4)	➤ ニュータウン地区との格差を感じる ➤ 千葉ニュータウンだけでなく、印西市全体に力を入れてほしい ➤ 市街地が中心で旧村地区は置きざりにされている
	その他 (21)	➤ 一人一人の環境に対する意識の問題 ➤ 高齢化によって農業を継ぐ方が殆どいない ➤ 地産地消の積極的な取り組み・印西名物品の開発とPR ➤ 農家の田畑が毎年草だらけ荒れ放題 ➤ 農業体験できる施設を整えてほしい ➤ 空家屋の放置 ➤ 防災に力を入れてほしい

事業者意識調査の結果

1 事業所の属性

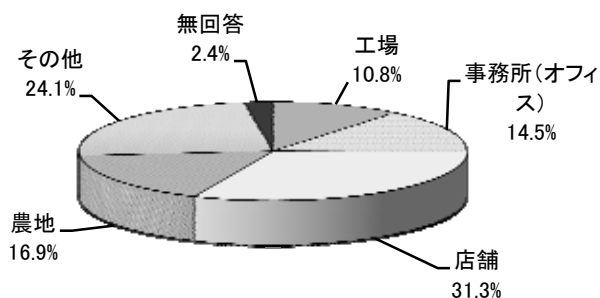
問1-1 貴事業所の業種は何ですか。(1つ選択/11選択肢)

回答数 81社



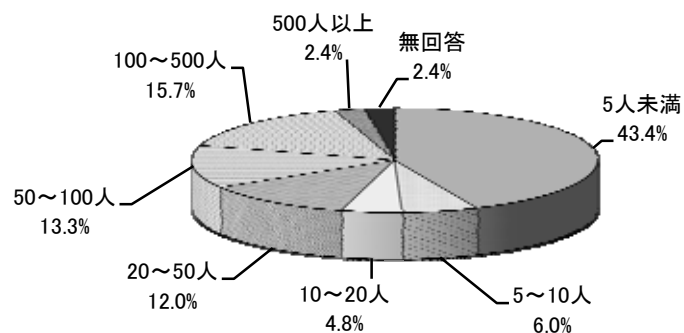
問1-2 貴事業所の事業形態は何ですか。(1つ選択/4選択肢)

回答数 81社



問1-3 貴事業所の従業員数は何人ですか。(1つ選択/7選択肢)

回答数 81社



2 印西市の環境について

問2 貴事業所では、印西市の環境に満足していますか。
また、その環境を保全、対策することがどの程度重要だと思いますか。
(1つ選択／5選択肢)

○満足度

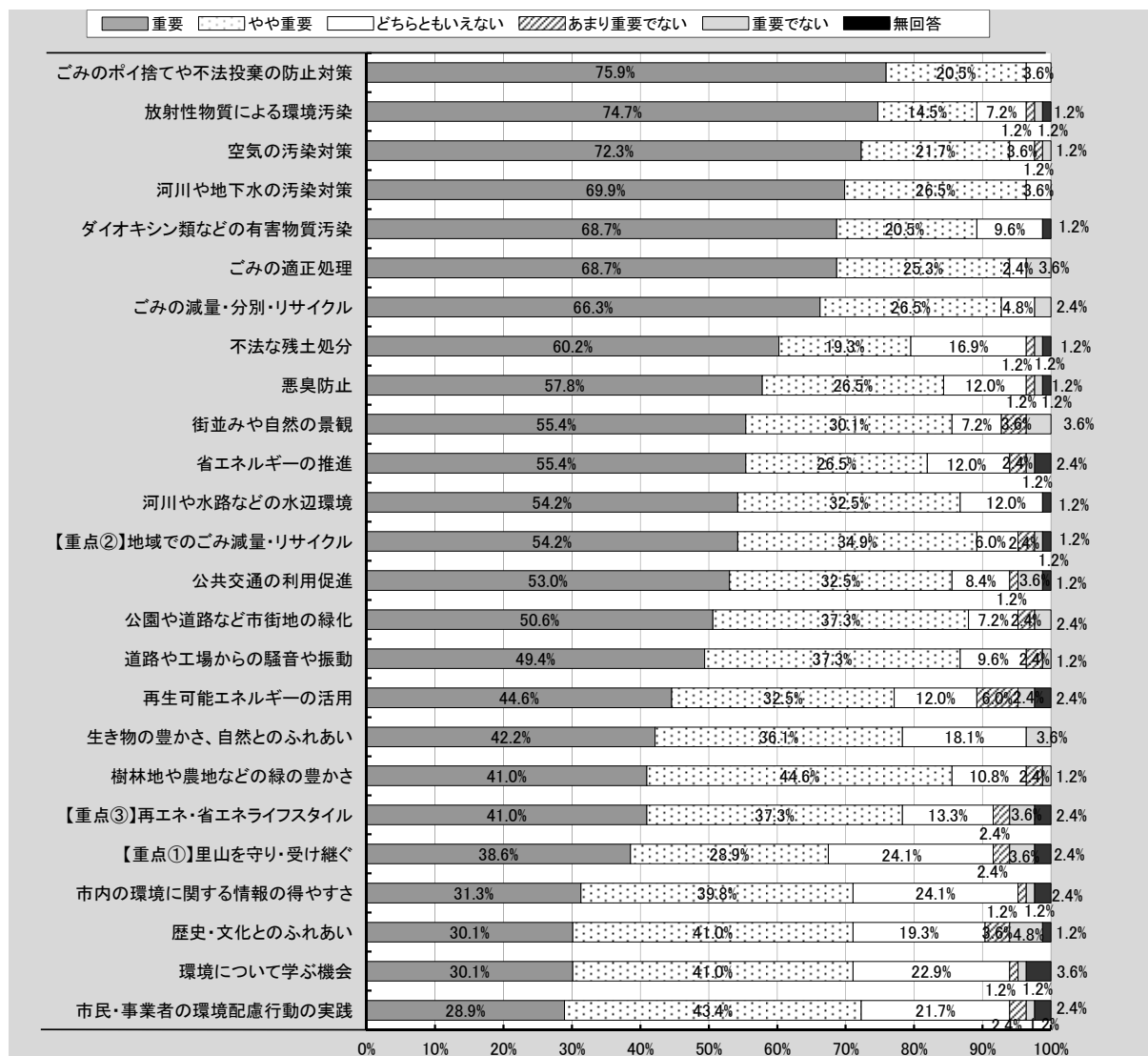


※重点①～重点③は、印西市環境基本計画における重点プロジェクトを示す。

「樹林地や農地などの緑の豊かさ」は、『満足』『やや満足』の回答が8割を超えていました。
また、「空気の汚染対策」「公園や道路など市街地の緑化」も満足の割合が高い結果でした。

一方、「不法な残土処分」「ごみのポイ捨てや不法投棄の防止対策」「公共交通の利用促進」で、『やや不満』『不満』の割合が高くなっていました。

○重要度



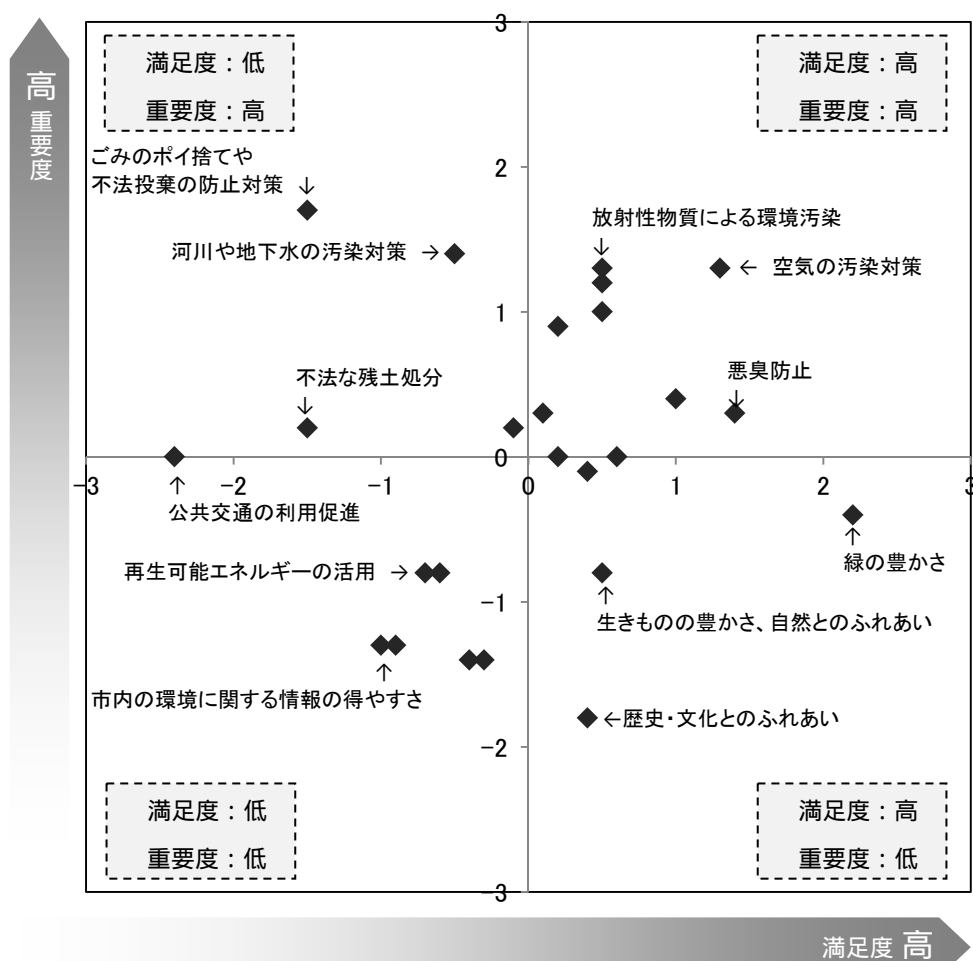
※重点①～重点③は、印西市環境基本計画における重点プロジェクトを示す。

「ごみのポイ捨てや不法投棄の防止対策」「放射性物質による環境汚染」「空気の汚染対策」は『重要』の回答が7割以上でした。

一方、「歴史・文化とのふれあい」「環境について学ぶ機会」「市内の環境に関する情報の得やすさ」「市民・事業者の環境配慮行動の実践」は他の項目と比べて重要という回答が少ない結果でした。

○満足度・重要度マップ

各項目の満足度と重要度から標準化得点マップを作成し、グループ化しました。



・ 重点改善項目（満足度が低く、重要度が高いグループ）

「ごみのポイ捨てや不法投棄対策」「河川や地下水の汚染対策」「不法な残土処分」
「省エネルギーの推進」

・ 改善項目（満足度が低く、重要度が低いグループ）

「環境に関する情報の得やすさ」「環境について学ぶ機会」「市民・事業者の環境行動の実践」
「重点 里山を守り・受け継ぐ」「再生可能エネルギーの活用」「公共交通の利用促進」
「重点 再エネ・省エネライフスタイル」

・ 重点維持項目（満足度が高く、重要度も高いグループ）

「空気の汚染対策」「放射性物質による環境汚染」「ダイオキシン類などの有害物質汚染」
「ごみの適正処理」「ごみの減量・分別・リサイクル」「河川や水路などの水辺環境」
「悪臭防止対策」「重点 地域ぐるみでのごみ減量・リサイクル活動」

・ 維持項目（満足度が高く、重要度は低いグループ）

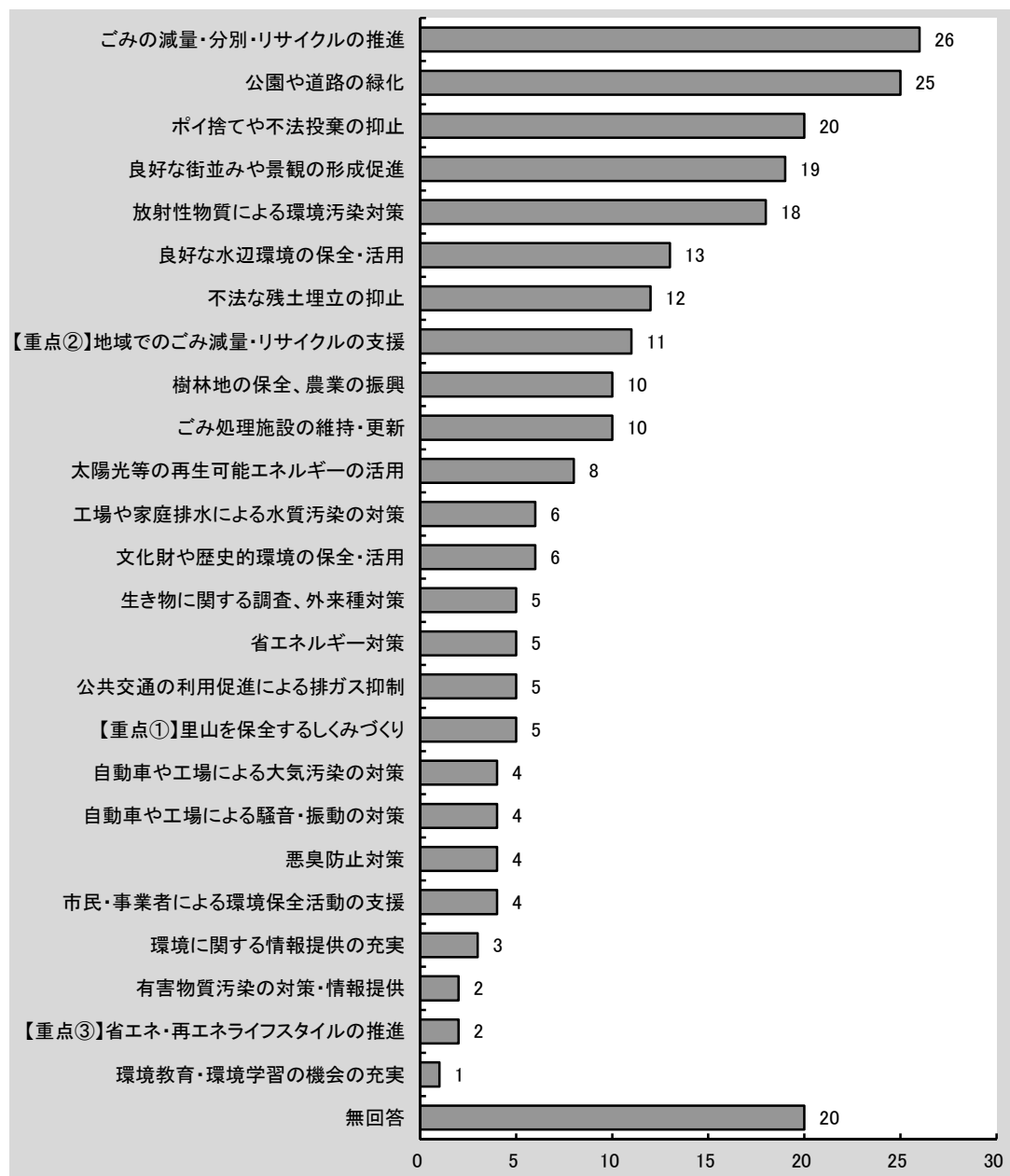
「歴史・文化とのふれあい」「生き物の豊かさ、自然とのふれあい」「街並みや自然の景観」
「樹林地や農地など緑の豊かさ」「道路や工場からの騒音・振動」「公園や道路など市街地の緑化」

3 市の取り組みについて

問3 現在、市が取り組んでいる環境施策のうち、ここ数年でよくなったと感じる施策と、今後とくに力を入れてほしいと考える施策はなんですか。
(5つ選択／25選択肢)

○ここ数年で良くなった施策

回答数 228 (63社)

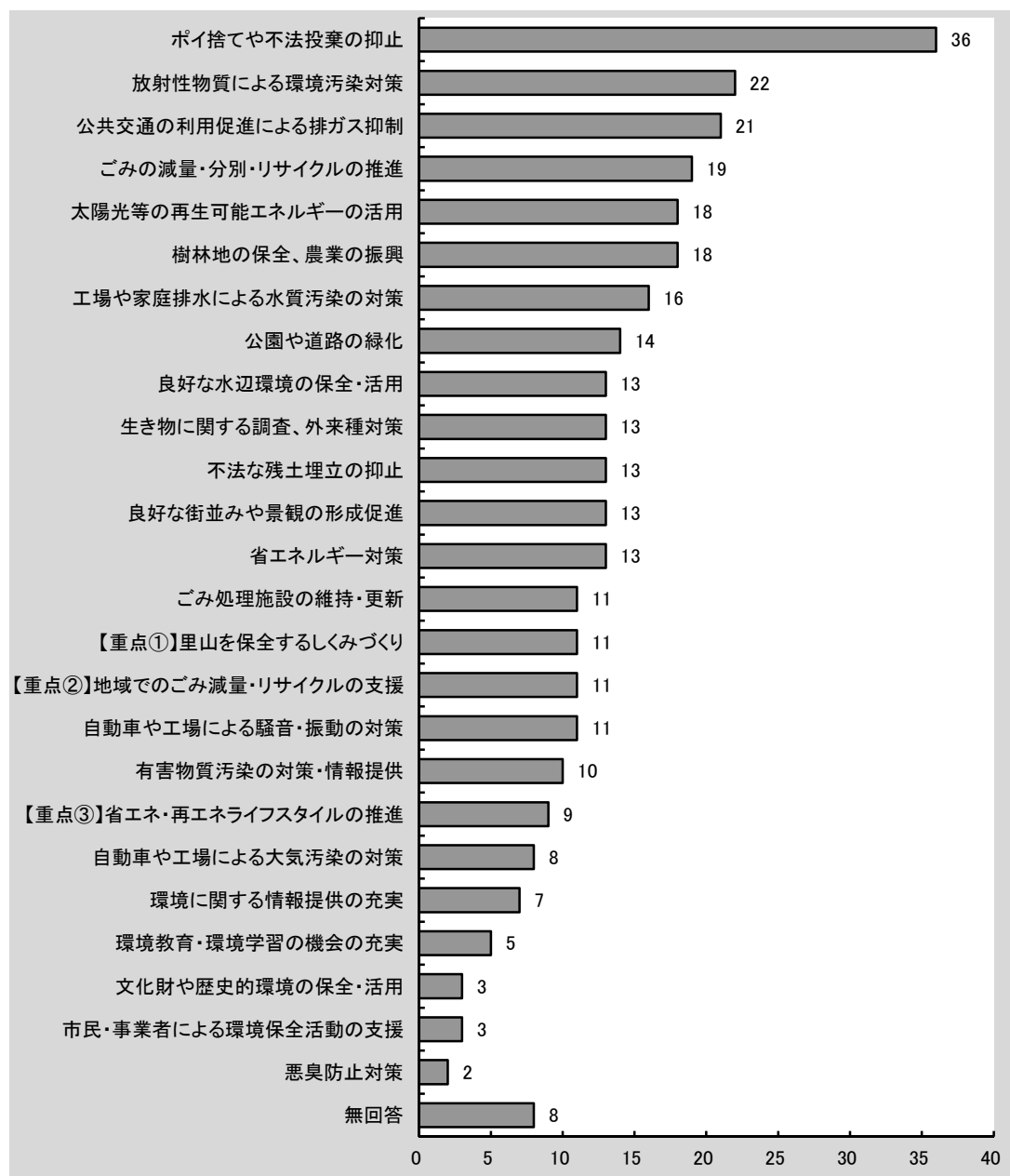


※重点①～重点③は、印西市環境基本計画における重点プロジェクトを示す。

最も意見の多かったのは「ごみの減量・分別・リサイクルの推進」となり、次いで「公園や道路の緑化」「ポイ捨てや不法投棄の抑止」が多くあげられました。

○今後力を入れてほしい施策

回答数 320（75社）



※重点①～重点③は、印西市環境基本計画における重点プロジェクトを示す。

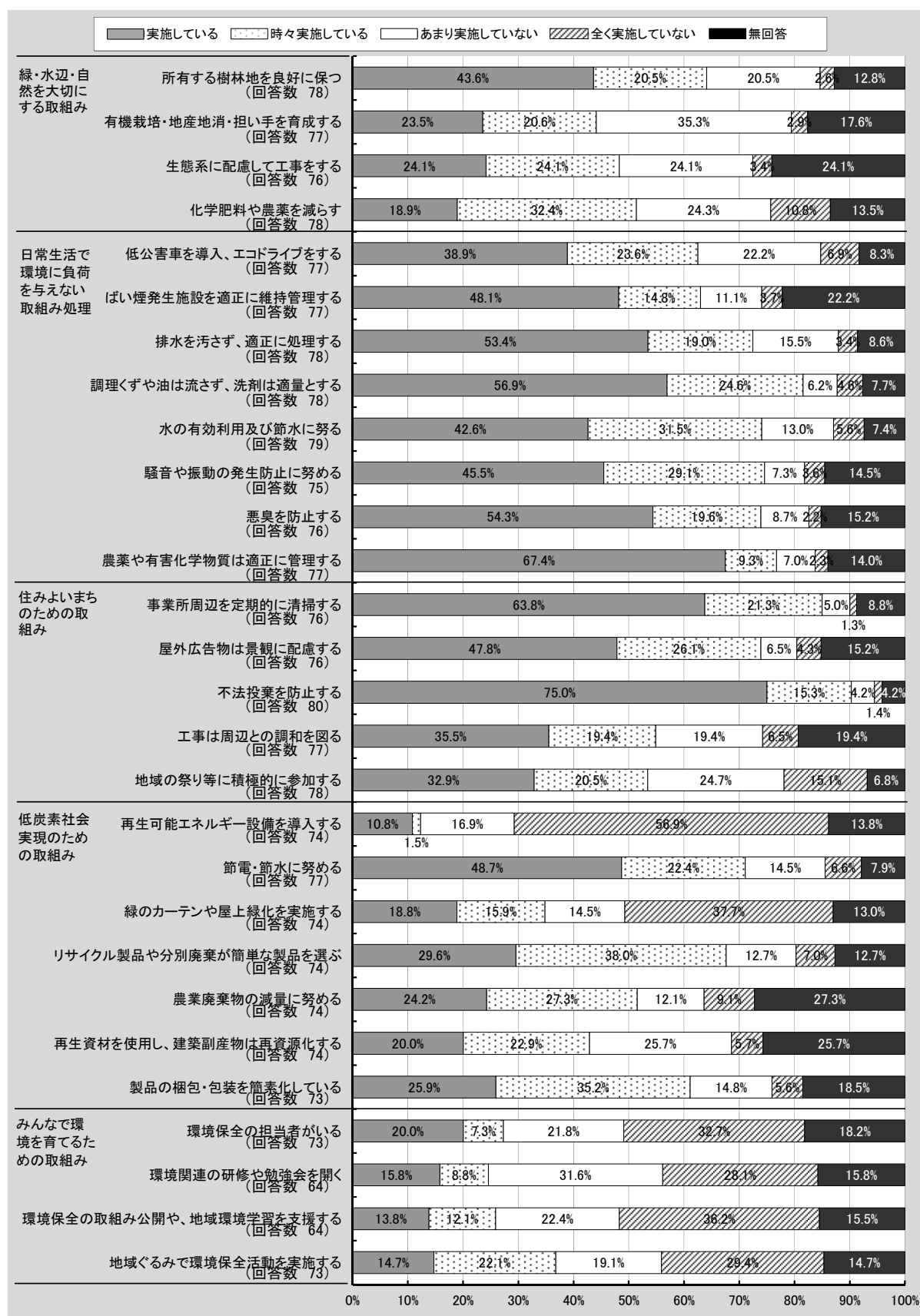
今後力を入れて欲しい施策として、「ポイ捨てや不法投棄の抑止」が突出して多い結果でした。そのほか、市民意識調査においても回答の多かった「放射性物質による環境汚染対策」があげられたほか、「公共交通の利用促進による排ガス抑制」などが多くあげられていました。

4 環境行動への取り組みについて

事業所における環境行動への取り組み状況（次頁参照）を見ると、「日常生活で環境に負荷を与えない取り組み」は8項目中4項目、「住みよいまちのための取り組み」は5項目中2項目で、半数以上の方が『実施している』と答えていました。「調理くずや油は流さず、洗剤は適量とする」「事業所周辺を定期的に清掃する」「不法投棄を防止する」は『実施している』と『時々実施している』の合計が8割以上となっており、事業所内で取り組みが日常的に実施されていました。

一方、「緑・水辺・自然を大切にする取り組み」や「低炭素社会実現のための取り組み」「みんなで環境を育てるための取り組み」は『実施している』が半数以上の項目はありませんでした。

問4 貴事業所では以下のような環境行動を実践していますか。（各1つ選択／4選択肢）



5 自由意見

問5 印西市の環境に関するご意見、ご要望があればご記入ください。（記述式）

回答数 12社

主な意見
・ ゴミ袋をもっと安くしてほしい、そうしたらきちんと分別してゴミを捨てる者が増えると思う ・ 公共交通機関の便が良いとは言えないので環境面など考えると強化してもらいたい ・ 環境保全の意識を持った人を増やして行こうと考え行動していきます ・ 道路際の清掃、草刈りなど徹底いただきたい ・ 市内公共施設や街灯の LED 化及び家電用品についての買い換えの補助 ・ 街路灯がうす暗く、切れていることがあり、危険なため改善してほしい ・ 自然や緑地が多い素晴らしい環境の印西市である ・ 交通渋滞、ゴミの不法投棄、ペットのフン等